



寒い日が続いています。手袋と帽子をお願いしたいです。物を持つにも大変です。転んでも大変です。「カバンに入ってます。」という子もいます。車から降りる子も、身に着けてから降りるようにさせたいくらいです。よろしくお願いします。

「お正月さん」は 「やる気」と「勇気」をくださる

2学期の終業式に約束した通り、元気な挨拶をしながら子ども達が集まりました。ちょっと会わないうちに、みんな大きくなりました。そして、始業式。やっぱり、しっかりと話を聞いています。本当によく聞いてくれるので、うれしくなって昔話をしました。

ある山に、コン太というキツネの子どもが住んでいました。年の暮れも近いという頃、近くを通りかかる村人たちが、口々に、「正月はいいもんだ」「正月はいいもんだ」と言うもので、コン太は、「お正月さん」に会ってみたいくなりました。正月を人のことだと思ったようです。

百八つの鐘が鳴り始めた頃、コン太は、ふもとの方におりていってみました(除夜の鐘ですね)。

セン吉の家の前を通りかかると、セン吉の家の中で、おとうがセン吉に話しています。

「新年、おめでとうございます。今年も「お正月さん」が来て下さった。「お正月さん」は、やろうと思えば、必ず力をくださる。セン吉も去年は、できんことがあったが、「お正月さん」をお願いをして、力を貸してもらおうじゃ。「お正月さん」がありがたいのは、「やる気」と「勇気」を下さることじゃ。」

いつもはいたずら者のセン吉も、今日はしっかり聞いています。「今年こそは、やるぞ!」と顔に書いてあります。

キツネのコン太もうれしくなって、おうちに戻っていききました。「お正月さん」が来てくださるのを楽しみにして、「今年こそは、やるぞ!」と何度もつぶやきながら…

令和3年、新しい年が始まりました。子ども達も、お正月さんから、『やる気』と『勇気』をいただきました。新しく始まるということで、「何かができそうな気」がしてきます。しっかり、目標を立ててまとめの3学期を進んでいきたいです。きっと「お正月さん」が応援してくださるはずです。

先生たちが3学期がんばってほしいことは 「自分で考える」こと

～始業式で伝えたこと～

これまで「自分達でできることを増やして行こう」と言ってがんばってきました。その「できること」に「自分で考えること」も加えてがんばって行きましょう。『計算の答えを考える』から『やってよいことかどうかを考える』とか『直すことを考える』、『まだできることはないかと考える』など、学習から生活、遊んでいるとき、行事の取り組みなど、たくさんの考えるチャンスがありそうです。また、行動する前も行動し終わってからの振り返りでも考えます。さらに、友達のを考えを聞いたりよい行動をしている友だちに気づいたりすることで、考えを増やすこともできます。そうしたら、ますます、種市小学校はよくなります。みんなで、よりよい種市小学校を創っていきましょう。

先生たちも

“よりよい種市小学校を創る”

先生方も、冬休みに、「この3学期、子ども達にがんばってほしいこと」を話し合いました。このとき、まとめられたものが模造紙4枚になりました。それらの中から中心にしたいと考えたことが「自分で考える」ということでした。始業式にはその模造紙を子ども達にも見せました。先生たちも、よりよい学校を創ろうとがんばっていることが伝わったらいいなあと思っています。



「よいよい学校を」

「思い・願いが伝わること」のうれしさ
それが、「子どもから出てくること」のすごさ

始業式のなかで、子ども達を代表して、会長の小林 稀（こばやし れあ）さんが3学期の抱負を発表しました。

冬休みも終わり、いよいよ3学期がスタートしました。・・(略)・・ほくから、みなさんと頑張っ
て行きたいことが3つあります。

1つ目は、学習や生活面での態度です。みなさん、2学期を振り返って見てください。2学期は、
ろう下歩行のきまりを守ったり、相手より先に明るく元気にあいさつすることができていましたか。
また、学習面でも、進んで自分の考えを発表したり、先生や友達の話しを静かに聞いたりすることが
できていましたか。3学期は、このような学習面や生活面でも細かいところを意識しながら過ごして
行きたいと思います。全校の学習や生活態度がよくなれば、**きっとこの学校は明るく、よいよい学校
になると思います。**

2つ目は、何事もあきらめず、最後までやり通すことです。2学期の運動会を思い出してください。
今年の運動会でも、転んでしまったり最下位になったとしても参加している全員がゴールまで走り切
ることができました。ほくは、あの運動会のように、何事にも、最後までやり切って行きたいと思
います。これからの3学期も、自分が苦手なことや分からないところなどがたくさんあると思います。
ですが、そのようなかべに当たっても、あきらめずにそのようなかべを乗り越えて行きたいと思
います。全校の努力する姿が、**この学校をよりよくすること**や自分の成長にもつながると思
います。

3つ目は、全員と力を合わせることです。2学期の学習発表会では、学級全員が協力して、お客
さんに自分たちの発表で感動の気持ちを伝えることができました。これは、学級で教え合ったりなどの
協力があつたから、大成功させることが出来たと思います。これからも、友達を協力する場面がたく
さんあると思います。そのときに、どれだけ友達と力を合わせる事が出来るかで結果は変わって
くると思います。なので、みなさんにも協力することを大切にしてもらいたいです。

ほくは、以上の3つのことを全校で頑張っ
て行きたいと思
います。残り43日間の3学期を**よりよ
いものとするために**、1日1日を大切に過ごしましょ

なんということでしょう！2学期の終業式でも今度も始業式でも子ども達に話した「**よりよい種市小
学校を**」と同じ言葉が聞かれました。先生方がこれまで子ども達に、「**自分達で**」とか「**創り上げる**」と
いうことを伝えて一緒にがんばってきたことが根付いているようです。

また、それぞれの運動会や学習発表会などの行事の取り組み方や成果も残っていましたし、行事が成
功したときにあえて「足元を見よう。当たり前ことは出来ているか。」と言ってきたことも、子どもの
見方・考え方として残っていたようです。

思っていることが相手に伝わるということはいはうれしいことです。しかも、子ども達の口からその言葉
が出てきたのですから、すごいことです。子ども達は、しっかりと受け止めてくれていました。そう思
うと、こんなにうれいしことはありません。(ますます、よい学校になっていきます。)

稀さんは続けました。「残り43日間の3学期を**よりよいものとするために**、1日1日を大切に過ご
しましょ。と。**立派です！参りました！**（発表が終わって、誰からとなく拍手がおこりました）

始業式の朝、子ども達を迎えました。元気にあいさつしてくる子のなか
で、「**新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いま
す。**」と深々とお辞儀をする子。思わずこちらも「**これはご丁寧にありが
とうございます。今年もよろしくお願いま
す。**」と最敬礼してしま
いました。そういえば、終業式の日も、「**よいお年を**」と言って帰っていく子
がたくさんいました。

だれがこのようにことを教えるのでしょうか。おうちの方でしょうか、学
級の先生でしょうか。それとも、大人を見ていて、こうするものだと思
ったのでしょうか。私達は、このようなことを教える大人（先生）であり
たいと思います。そして子ども達には、教えられたことをやろうという「**素
直さ**」をもたせたいと思います。このようなことが教えられ、子どもの中
に受け継がれていくようにしなければならぬと思います。



玄関で挨拶してくれた
2年外久保乃亜さん
3年高橋悠月さん